

会 議 録 (11 月)

平成30年11月15日(水)
五ヶ瀬町教育委員会 会議室

- 1 出席委員 教育長 猪野 貴一 委 員 石井 勇
 委 員 寺本 俊文 委 員 興梠 浩幸
 委 員 松本 貴子
- 2 事務局 教育次長 甲斐 津世志 指導主事 渡木 秀明
- 3 書記 教育次長 甲斐 津世志
- 4 報 告
 (1) 学校施設の空調設備計画について(要求状況)
5. 協 議
 (1) 総合教育会議の議題について(12月開催)
 候補日(16:00~開催予定): 12/10(月)、12/13(木)、12/17(月)
 (2) Gビジョンの来年度以降の方針について
6. その他
 (1) 第32回体力づくりソフトボール大会の結果について(10/21)
 (2) 第10回五ヶ瀬町美術の祭典について(出品及び入賞者)
 (3) 第8回フロアカーリング大会の結果について(11/11)
 (4) 町内一斉ノーメディアデーについて(11/27~29)
 (5) 宮崎県生涯学習実践研究会について(12/15 宮崎市)
 (6) 第9回宮崎縣市町村対抗駅伝大会について(1/14 応援バス運行)
 (7) 市町村教育委員研究協議会について(1/18 福岡市)
7. 連絡事項等
 (1) 教育委員会行事予定(11~1月)について
 (2) 次回の委員会の日程について
 12月 日() 午後 時 分から
8. 閉 会

会議録 17時30分開会

教育長 あいさつ

議事録署名委員 興梠 浩幸 委員

Q・・・Question（質問） A・・・Answer（回答）
O・・・Opinion（意見） E・・・Explanation（説明）

【4 報告】

(1) 学校施設の空調設備計画について（要求状況）

① 資料に基づき教育次長が説明

E 1 資料のブロック塀・冷房設備対応特例交付金は、学校施設空調設備整備の事業名となり現在要求を行っている状況である。平成29年度に保健室、平成30年度に職員室にエアコンを設置しているが、電源容量の関係で上組小と五ヶ瀬中は動かない、他の学校はなんとか動いている状況である。今年の非常に暑い夏により話題となったが、文科省も予算を800億円程要求すると新聞に載っていた。特例交付金ということで、国・県を通じて要望調査があった。この事業は本年度から取り組んで平成31年の7月まで、平成30年度事業だが繰り越して平成31年度まで行うということで計画をしている。各学校実施計画を出しているが、本年度に職員室に設置したのも補助対象となる。まず、鞍岡小は普通教室が6室、その他教室は職員室を含め4室。三ヶ所小は特別支援教室を含む普通教室が7室、特別教室は音楽・視聴覚室1室、その他教室は職員室を含め4室。坂本小は普通教室が6室、その他教室は職員室を含め6室。上組小は特別支援教室を含め普通教室が7室、その他教室は職員室を含め3室。五ヶ瀬中については特別支援教室を含め普通教室が4室、特別教室が2室、その他教室が職員室を含め4室と計画している。全国の要望状況もありどこまで採択されるか分からない。事業費も算定基準より75,896,000円となる。しかしながら実際の事業費は1.3倍の1億円が実質の費用だと考えられ、特別交付金・地方債を用いて実施していこうと予算要望している。

E 2 まだ閣議決定はされてない、予算案として通るかとは別だが全国でかなり要望を出してくると思うが今考えられる最大限の教室と特別教室を要望している。特別交付金の補助率はよく起債で50,000,000円借り事業費の26.7%が町の持ち出しとなる。また、次どうするかということも大事になる。教育委員会が担当している施設はGドーム、公民館等、上組小の体育館は第一避難所となっている、それをどうするかということを考えていかないといけない。流れとしては今後そういうところも事業が出てくるのではないかと考える。

Q 1 教職員住宅はどうなっているのか。

A 1 教職員住宅を建てた時点では国の補助が出ている。その後、修繕費は町が全て負担している。教職員住宅を建てる基準があり、昔は学校の校区内にあればよかったが今は学校が見える場所に等基準がありなかなか難しい、集合住宅みたいな

場合は補助率が低くなってしまおうと理解している。また、年間の住宅料の収入は14,000,000円くらい、去年から維持費等の予算を変えて欲しいと言っている。

- 1 他の市町村は町外からの通勤が多い。また、教員住宅のエアコンの設置など、全てを変えるのは難しいかもしれないが。
- 2 教職員住宅は老朽化している。住宅料と共益費も払ってもらっていることから修繕が発生した時点で対応している。なかなか予算が追いつかず苦しい面もあるが要望に近い形で対応している。
- 3 それ以外のことをどうするかということ。どう思われますか。
- Q2 住宅料が年間14,000,000円あるとして、それを何に使っているのか。また、住宅だけにしか使えないようにしているのか。
- A2 歳入は決まっているが歳出では大きな財源の中に入っている。
- 4 昨年、気になったのは徴収する住宅料の使用方法だった。なぜ、教職員住宅の基金として積み立てをしなかったのか。最初は町が建てたので当然町へ返していくというのはあるが、その数パーセントでも積み立てを行うべきではないか。それが貯まった時には新しく造ることもできることが出来ないのかと思った。
- 5 毎年同じように入ってくる収入であり、なんとか出来ないだろうか。
- 6 五ヶ瀬町に来られる教員は使命感も持って来ている。多少住宅料が高くても受け入れてくれている。住宅料の補助が1/2あるので半額で済むが、金額から築年数を比べると割高になっていることを気付いている教職員もいる。
- 7 今の意見を含めて教職員住宅の環境整備を考えていくべきではないか、教職員住宅はなかなか見えにくい部分であると思う。良い環境で良い教育をやってもらいたい、老朽化した住宅は年次更新してくなど。
- 8 町の財政状況も分からなくないが、住宅料が重要な歳入となっているというのも確かだろう。
- 9 約15年位前から箱物建設に補助が付きにくく住宅着工も少なくなってきた。
- 10 五ヶ瀬町は教職員住宅が多かったというのもあるが、かなり地元に住んでもらっている。高千穂や山都町どれくらいの先生が地元に住んでいるか調べてもらい、そこを打ち出して環境整備に繋げていくといくのものではないか。
- 11 先日の人事異動説明の資料でもアピールという部分があるが、その中に「新しい住宅を造ってお待ちしています。」「全てウォッシュレットに替えました・進めています。」等の文面がある。五ヶ瀬町は別のことを書いたが、その部分は

書けない、これから変わっていくべきだと思う。

○12 先生方も3年間生活をされるのだから環境整備をすることは大事である。

【5 協議】

(1) 総合教育会議の議題について(12月開催)

候補日(16:00~開催予定): 12/10(月)、12/13(木)、12/17(月)

① 資料に基づき教育次長が説明

E3 総合教育会議は5月と12月に開催するとなっている。12月の日程を調整している。昨年12月の開催時刻が午後4時からなので同じ時間と考えているが、12/10、12/13、12/17が対応出来る。また、その日後に定例教育委員会を行っている。

それでは、12月13日(木)午後4時から総合教育会議、その後、定例教育委員会を行うことでよろしいか。

E4 本来ならば総合教育会議は当局が調整を行い、どんな課題・議題にするか問い合わせがあるべきだが、教育委員会から問題や実態を出したらと考える。その中に教員住宅環境問題の話が出来る。今後の教育施設と教職員の住宅について、これは決定でよろしいか。

○13 どれくらいの先生が地元に住んでいるかを調べてもらいたい。

○14 西臼杵3町、山都町の蘇陽南小学校を調べる。対象は正規の教職員で、講師は含まない。他に何か意見があれば。

○15 次年度、講師の確保は死活問題である。子供たちのもっとも大事な教育環境を学校も我々も探しているが揃えられないということがある。先日、小学校の修学旅行で熊本学園大学を訪ね講師の問題を話した。大卒で220,000円~230,000円の給与プラスアルファと様々な補助・奨学金を代わりに返しますという中で、五ヶ瀬町は教職員住宅に入ってもらおうお願いをしている。若い教員に家賃はかなりの負担となると感じている人もいる。住宅料は議会で決められているが、教員が来て欲しい思いと、より良い条件のもと働いてもらいたい思いがある。システム等自信はあり、周りの先生方もよく教えて下さる。今話したような住宅料や奨学金貧乏などの対策を考えていかなければいけないと感じ帰ったことがある。

E5 熊本市内であれば、学校関係者で初任給220,000円いかないくらい、五ヶ瀬町の講師の場合は180,000円~190,000円くらい、ほかの地区から呼んでくるとするとかかなりの裏技がいる。頭の中に入れてもらえればありがたい。教育委員さん方から話してもらおうと効果がある

E6 日之影町であれば、校長・教頭・教諭・養護教諭、何人いるうちの何人が町内に住んでいるのか。高千穂町は少し上がるかもしれない。高千穂小学校は1/3が町内に住んでいる。データを総合教育会議に準備しておく。あとは何かないか。

Q3 調理師採用の件はどうなっているのか。

A 3 当然話しを止めているが、退職した後の募集については町として考えていない。また、保育所を民営化しようと考えがある。その場合調理員はどうなるのか、一緒にこの問題は考えていきたい。もう一点あるのが五ヶ瀬町の課題、子供が減ってきている。それに対して町はどのように考えるのか。

(2) Gビジョンの来年度以降の方針について

① 資料に基づき教育長が説明

E 7 五ヶ瀬は教育ビジョンでよく頑張っている。資料中のスタートの新入学生の部分を増やしたいが無理がある。この部分を増やすためには幼児教育をしっかりしないと駄目である。幼児が存在するためには地域に若い大人がいけないといけない。これが前回から話している循環型である。この部分を町サイドがどうするのか。例えば住宅があるのかということもある。

○16 先日の情報公開の会の折にも言ったのだが、五ヶ瀬町出身者でも高千穂に職場があり高千穂に住んでいる。知っているだけでも小学生くらいの子供が4~5人はいる。その人たちが帰ってくれば生徒が増える。

○17 住宅的な問題なのか家庭的な問題なのかもある。そこをちゃんと調べないといけない。

○18 やっぱり小学生に上がる前に町に戻ってきて欲しい。小学校に上がれば友達も出来るし、なかなか帰って来ない。帰ってくる器があるかどうかで変わってくる。五ヶ瀬で探して見つからないのでよそに住んだというのはよく聞く。

○19 議会でもそのことは話しているところだ。

○20 五ヶ瀬教育ビジョンで良さを知って、五ヶ瀬の将来を担おうとする子供が一度外に出て、また、五ヶ瀬に戻る時には場所が無い。子供たちに「五ヶ瀬は良いところ」と話して「また帰って来いよ」と言いながら、どこに帰って来るのかを用意してないのということもある。

○21 全体のデザインを早く考えなければいけないが、根本的な問題も改善されない面もある。また全体的なデザインを誰が作れるかというのは分からないが、そこに拘らず総合的な事を考えなければならない。

○22 来週には幼児教育と小学校教育の繋ぎの部分について説明を福祉課長に行く。ただ保育・教育に関する事だけであって、いわゆる措置、子供にどれくらい費用が必要であってというところは町が包括的に考えていかなければならない。人を増やすというか、今の五ヶ瀬を守るためにどうしていくのか、人材育成デザインと次年度の五ヶ瀬教育グランドビジョンの説明をした後、どうしていけばいいのかという話し合いの中で少子化について話が出来ないかと思っている。

町長もこのままではいけないというのは分かっておられる。住宅も建てるべきというのも分かっておられる。どうしても予算等あるので難しい。

○23 地方創生などアプローチしていく方法があるのではないか。

○24 今、国のソフト事業はあるがハード事業はなかなか来ない。これからどうなっていくか。総合教育会議には、教育施設、教職員の環境について、五ヶ瀬グランドビジョンについて、その3点で教育委員会からは議題を考えていると伝えて欲しい、教育委員会側からは決められないので。これでよろしいか。

【6 その他】

(1) 第32回体力づくりソフトボール大会の結果について(10/21)

① 資料に基づき教育次長が説明
(質疑)なし

(2) 第10回五ヶ瀬町美術の祭典について(出品及び入賞者)

① 資料に基づき教育次長が説明
(質疑)なし

(3) 第8回フロアカーリング大会の結果について(11/11)

① 資料に基づき教育次長が説明
(質疑)なし

(4) 町内一斉ノーメディアデーについて(11/27~29)

① 資料に基づき教育次長が説明
(質疑)なし

(5) 宮崎県生涯学習実践研究会について(12/15 宮崎市)

① 資料に基づき教育次長が説明
(質疑)なし

(6) 第9回宮崎縣市町村対抗駅伝大会について(1/14 応援バス運行)

① 資料に基づき教育次長が説明
(質疑)なし

(7) 市町村教育委員研究協議会について(1/18 福岡市)

① 資料に基づき教育次長が説明
(質疑)なし

【7 連絡事項等】

(1) 教育委員会行事予定(11~1月)について

(2) 次回の委員会の日程について

12月13日(木)午後5時30分から

閉会時刻 18時32分

教 育 長

会議録署名委員

会議録調整者